

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○学校教育目標を実現するために、活力と魅力にあふれた学校作りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着と思考力・表現力および対話力・実践力の向上を図り、ねらいが明確な分かりやすい授業を展開します。</li> <li>・よりよい人間関係作りに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育てるために、特別活動・道徳教育の充実を図ります。</li> <li>・道徳、児童会活動の充実を図り、児童自らがいじめのない学校づくりに取り組む態度を育てます。</li> <li>・学校便りやホームページを活用し、地域との連携を図り、地域の人材、施設を活用した学習や体験活動に取り組めます。</li> </ul>	

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	自分のよさに気づいたり、人とのかかわりを通して相手を思いやる態度や、社会に役立つ行動を価値付けたりして、自他を大切にすることを育てる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 別葉や年間指導計画を活用して、児童の日常生活をもとにした導入の工夫や振り返りの充実を目指した授業改善を図る。</li> <li>② 児童会活動やペア学年交流など異年齢活動をさらに充実させる。</li> <li>③ 読書活動や文化芸術体験を推進する。</li> </ol>
担当	道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・道徳的な価値について、多くの児童は理解しているが、集団の中で適切な行動がとれない場面が見られる。
- ・学習状況調査の生活意識調査項目において、あいさつを自分からしている、人の気持ちを考えて行動している（どちらかといえばしている）児童は8割を超えているが、児童の意識と実態とでは、やや違いがある。人との関わりにおいて、互いに心地よさを感じられるような関係づくりが必要である。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年に1回以上公開する。
- ・「多面的・多角的な見方へと広げる」「道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める」ことを評価の視点とし、多様な方法を取り入れた指導の工夫を取り入れるようにする。
- ・「いじめ未然防止」につながる内容項目では、児童の実態に合わせて、学年内で特に教材分析を丁寧に行い、価値把握を確実にして、態度化を目指していく。
- ・「別葉」を活用し、他の教育活動と道徳の時間との関連を図ったり、追加、修正したりする。

### 指針2 体験学習の充実

- ・「児童会活動」「クラブ活動」「委員会活動」「ペア学年交流」を通して、異年齢同士のつながりを築く。よりよい活動に向けて話し合ったり、相手の立場になって考え、活動したりしながら楽しさや喜び、自己有用感が得られるようにする。

### 指針3 豊かな感性や情操の育成

- ・「朝読書」の時間を週1回 15分間設定する。
- ・「朝読書」や「読書週間」では、読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク、委員会児童によるテレビ絵本などを実施する。
- ・優れた文化や芸術にふれる機会をもつため、芸術観賞会を年1回実施する。